



発行所 西蒲原郡 卷町公民館
編集人 保刈郡司
印刷所 昭和時報社

成人式

宣誓 大 関 正 治

戦後ここに五年と有る月、吾々國民にとつて湧出する感懐は各々異なるものがあらうが然しお互に共通した喜びは戦争の惨禍もつぐなつても余りある程貴重なる「人民の自由」をあらがうことの出来たことであらう。自由にして文化国家建設への気運は澎湃として高まり、列國環視の裡に一九五一年廿世紀後半の第一年を迎えるに当り、マツカーサ元帥のメッセージに侵略には敢然自衛講和と自主獲得の重大なる年であることを端的に明示して日本國民の愛國的奮起を饗えている。希望に明け一九五一年ではあるが、世界は原子力をめぐつて再び冷戦のカリテンを破り、極東の一角は遂に硝煙うづまく戦場と化し、第三次世界大戦への様相を呈じ、アジアは冷き戦争に怯い戦っている。かかる秋、吾等成人となり本日当町第三回成年式は吾等がために今盛大に行はれている。

吾等本日を契機として先輩諸氏の列に加わり、文化国家建設への一翼を担う榮辱を与えられましたことは吾々のもつとも喜びとするところであり、然し吾々を取りまく現実

野も山も白一色にうづもれたるその中にありて、美しく咲きいたる寒梅のほのかにはなつ香りも麗はしく今日此処に私達のために意義深き成年式を挙行して下さいましたことは何にも例へようのない感激に胸一杯でございます。

人生行路の中でただでさい映しいこの青年期と現在の多端なる社会生活にともすれば迷ひやすく、又危険の淵にいつの間にか歩み寄りかかるといつか私達が、皆様のあたたかい御慈愛と御理解によりまして、自らの進むべき道を見出し、今此処に成人としての第一歩を踏み出すことのできますのは私達にとつて大いなる感謝と喜びでございます。

そして又本日は特に町長さんをはじめ來賓のみならず、中学校の生徒さんなどから数々の御期待と激励の言葉を戴きまして私達は今こそ眞の平和を確立すべき秋に生を受けたことを自覚し、その責任の重大さを一層強く感ぜずには居られません。物心ついてから今迄の私達の前には目まぐるしいまでに世の変遷がありました。その中で最も大きな事柄として、悲しむべき戦争がありました。そしてそれは終戦と言ふ事実によつて今尙私達に大きな痛手を与えつつも一つの悪夢として消え去らんとして居ります。

併しあの三十八度線に端を発した朝鮮動乱により世界は再び火を吐いたかの緊迫した情勢に直面して、あの苛酷な戦争がまた私達の胸に生々しくよみがへつてくるのでございます。今日この喜びと希望に満ちた式典のさ中にも海の彼方には戦争と言ふ

答 辞 佐藤栄子

最大の悲劇が既にひろげられ、そして戦火の中には苦難と悲しみに満ちた幾多の同胞があるのでございます。それらの事を考えますときに、戦争は誰がするのだ」と叫びたくなり、そして一日でも早く世界の平和が来るように祈るのでございます。

更にこの理想郷を作るために眞の平和国家再建を目指し、そして愛する郷土巻町の発展のために私達の生涯の最も意義深きこの出発の日に当りまして皆様より戴きましたお教へを必ず身をもつて実行し、御厚志の万分の一にもお答へできるような努力を覚悟でございます。

今後一層の御指導を賜はりますよう切にお願い申し上げます。

本日光榮ある成年式に御招待をいただきまして私達として至らない言葉ではございますが一言感謝の意を述べまして答辞といたす次第でございます。

昭和二十六年一月十五日

私たちの人権擁護委員

今度、法務庁から堂谷哲雄氏（安養寺住職）が委嘱されました。この新しく生れた人権擁護委員は

1. 自由思想に関する啓蒙宣伝
2. 民間における人権擁護運動の助長
3. 人権侵害事件の救済のため、調査情報の収集、関係官公署団体への勧告
4. 貧困者に対する訴訟援助、その他人権擁護のため適切な救済
5. その他他人の擁護の相談

を任務とするのであります。常に関係者の身上に関する秘密を守り、人種、信条、性別、社会的身分、門地又は政治的意見、若しくは政治的所属関係によつて、事件を差別的又

公民館だより

一月十五日 第三回成人式
在町成年該当者一九四名
男一〇三名 女九一名
成人式参加者 一〇一名
男六一名 女四〇名

会場を巻町公民館に変更して第三回成人式は快晴の一月十五日午前十時石山青年団副団長の開会の挨拶に続き水倉町長さんの式辞と更らに成年者大関君の力強い宣誓は朗々として式場を圧す。町会、中学生、婦人の各代表の祝辞と最後に佐藤栄子さんの答辞で式は終了した。

記念撮影——新大植村教授講演会に続きレクリエーションは成年者による隠芸大会等々、更らに婦人会の御協力によつて作られた夕食をいただき午後七時藤原座に上映中の「指名犯人」を鑑賞し成年式の日を有意義に過ごすことが出来た。

二月 予定行事

中旬 第九回「ものをきく会」時事問題（議会の動き）下旬

第十二回討論会
巻町会四年の回顧
定期講座

英語科 巻小学校に於て
英語会話 毎週日曜日
基礎英語 毎週火曜日
普通科 巻小学校に於て
世界史 毎週木曜日
農業科 農業会に於て
珠算 毎週月曜日
華道 毎週金曜日
いづれも午後七時半より九時半まで

巻町会の定数について

一、2少くした方がよい 堀川 静司
二、理由 私情に偏せず真に町発展のために努力して下さる方々のみを選ばなければならぬ 高木 武夫

一、2少くした方がよい 小池 熊雄
二、各部三名にて議事運営が出来ると思ふ(二十五年年度の議員出席状況に鑑み) 遠藤 キミ

一、2少くした方がよい 丸山 勘次郎
二、議員の数を合理化して、町民が協力して自治の能率を計る様にしたいと思ふ

巻町会四年の回顧

新制中学校、保育所の建設赤嶺との合併更に町営住宅の建設等々波瀾の裡にも幾多の業績を残して再びめぐる来たこの巻町でも町会(理事者)が改選される事でありましたが、私達の選んだ町会(理事者)の過去四年間を振り返り一番良かったと思ふものを考えてみたいと思ふ

真剣な問題

冬木 迅一
かつて新潟の越後会館で東北六県の公民館長会議が開催された事があった。その折私はPTAの代表としてオゾザンで出席したのであるが当日の講師であつた文部省の鈴木事務官の話の中でこう言うのがあつた

音楽と私

長沼 春
私は死ぬ時がきたら「線上のアリア」を聴きながら死にたいと念願して居たが、人間の末期のあまりにもおそろしさを目のあたりに立合つてからは夢かなと思ひながら死にたいと昔の音楽を聴きながら死にたいと昔の音楽を聴きながら死にたいと昔の音楽を聴きながら死にたい

生活目標 時間厳守で明るい集会

巻町議事録

一月六日 議員協議会
出席二十名 欠席五名
一、町民税の賦課基準案について検討を行つたが結論に至らず、尙総務委員会に於て再検討の上決定する事

一月二十四日 町議会七回臨時会
出席二十名 欠席五名
一、巻町、町長、助役、収入役及び議会議員等に対する年末手当支給に関する条例の設定
二、巻町職員等に関する年末手当に關する条例の設定について

一月二十七日 厚生水道委員会
一、共同住宅入居者の詮衡をなす
二、新年度予算案について
(一) 保育所費 (二) 生活保護費
(三) 水道部の収入、支出について
(四) 水道部は明年度より特別会計と決定をなす

初心
幸甲 清
この世にはあまりにも小供らしく、なる程御名答と言いたい果してそんな時間に言うものは註文通りに行くのでしようか。全くこれは真剣な問題だと思ふ。我が町の指導者の皆様もさぞかしこうした問題に悩んで居られると思ふ

巻小学校 藝能祭を反省して

去る廿五、六両日の巻小芸能祭は町民各位の熱烈な御協力のもとに盛会裡にすこすことが出来ました。来るべき藝能祭に備えるため廿七日午後一時から全校PTA委員、職員合同の「芸能反省会」を開催し種々御意見を頂きました。話題になつたものは次の通りでした。

- (1) 兒童劇はどうであつたか
 - ・指導に苦心を払われたであらうが筋のわかりにくい点があつた。この対策としてマイク照明の増強が考えられるが、それには専門の配線施設に俟たねばならぬそうであらうか。
 - ・筋がわかる様に子供連合員にあらかじめ知らせておいたらどうであらうか。
 - ・クラブ劇で一年生から各学年にわたつて出たのは大変よかつた。先生が出演したのも中心点があつたりして大変うまくいつた。
- (2) 演出種目はどうであつたか
 - ・劇の脚本はこの町の子供に合う様に生先方が作つたもの。舞踊は洋ものばかりだつたが日本ものもほしかった。
 - (3) 出演児童はどうしてきめられるか
 - ・子供達の鑑賞する力を高めるためいいものを見せなくてはならないそのために筋がきまると、出演に適材の子供達を学年或は全校として選びだすので全員出場は不可能であるし又一部世上に流布する世話人の子供が出るという話ではない。
 - (4) 経済的負担は過重にならないか
 - ・一人千円かかつたとか色々言われるが、他から借用できるものをわざわざ新調して下さつて多額の経費を要した実例もあつた。
 - ・舞台の飾付はともきれいで規模が大きく三四万円もかかつている様に見えるが事實は先生方が一月に入つてから連日連夜朝の三時頃までかかり苦心の末作成されたものであるという。暗幕はバザー御協力の賜物であり引幕は今年卒業生の寄附、あとの幕は借用物である。
 - (5) 職員劇はどうであつたか
 - ・全職員出演は開校以來の企てで融和的な平和的な気分はともよかつた。父兄の方からも学校に親しみを増すことができ、將來もこの企をつづけてもらいたい。
 - (6) 藝能祭の時期はどうであつたか
 - ・一ヶ月早めて一月なつたのは、早くすませてあとの二ヶ月を一年間の最後のまとめとして、しつかりうちこんでやりたい学校側の意向であつた。寒さの点も考えられるが練習の都合もあり本年度の如くにして二日間にしてもらいたい。
 - (7) 父兄の観覧はどうであつたか
 - ・観覧の方々は延人員五千人以上に及び会場の制限から種々不便を感じられたことと思う。しかし果物の皮の散乱、長靴下駄ばきのままの観覧、机、椅子の持出し、通路区域の防げなど父兄の方々から一段と自覚をもつて御協力を願いたい点がかなりあつた。

(巻小PTA事務局)

抜き書聞き書覚え書

(或はスクラップ)

いつの頃と聞かれるとはつまりわからないのだが、西沼の水を鑑湯におとして、西沼を拓こうと、御倉川の下をくぐらせ、西うらのどへ流す計画をし、工事もほぼ出来上つたところへ、百ヶ村の人達がこれを知り、庄屋たちから嚴重な抗議をうけ、とうとうさた止みとなつてしまつた。——とゆうはなしを昔聞いたことがある。

(談吉川嘉兵衛、文齋藤)

がながんガヤガヤ
なが家がやける
はよ行つて
水でもお湯でもかけられけれ。

(童うた、大正初期)

五月二十八日、晴
相川竹内二君と同行して、車にて巻町に向ふ。七里、弥彦山の正面なり。信濃川の岸には製油所あまたあり。きたないものも也。
路は西川に沿いて上る。此川は地藏堂で信濃川から岐れて巻の町の傍を通る堀川なり。内野といふ処の近くに、大湯より来る流れと十文字になる。所謂底堀川也。
曾根は相応な町場、そこを過ぎて正午に巻に着く。
郡農会の試験場を見る。田中といふ場長案内す。蘭作に熱心な人なり。一体に西蒲原は蘭作盛ん也。販売組合の計画あり。昔も植えてあり。郡役所楼上にて講話。終つてすぐ三条に向ふ。此路四里半。吉田と燕の町を過ぐ。いはゆる第十九大区の低湿地の南端を通る。
(柳田国男著作集第六冊「北国紀行」二二頁)

二千冊突破運動

寄贈圖書

上原 甲子郎氏	「ヘーゲル哲学への道」	青春回顧(隨筆集)	若き娘たち	青銅時代	孤帆は白む(前後篇)	コンゴ紀行	チャド湖の帰路	新入庫圖書	世界文学全集フローベール	中学生全集	フランス小説選	細菌とのたたかい	大正名作選	社会科学文庫	地方の政治	開拓と植民	岩波新書	チャイコフスキー物語	芝居入門	ザメンホフ	ミレトとコロシ	フアブル記	マハトマ・ガンジー	少年期(二冊)	朝日年鑑	新潟県年鑑	世界思想事典	科学、文化史年表	大言海(二、三卷)	新和英大辞典	二度目の正月。喜ぶものは左党と酒屋と食品商のみ、ついでにお盆も二
甘粕 石介	辰野 隆	モンテルラン	芝木 好子	高倉 テル	徳 吉一 雄氏	アンドレ・ジイド	アンドレ・ジイド		鈴木信太郎訳	中村 光夫	八田 貞義	白井 吉見		田中 二郎	嘉治 眞三		岡部 四郎	小山内 薫	伊藤 三郎	内田 巖	山田 吉彦	巖山 芳郎	波多野勤子			河出書房	湯朝 光朝	富山 房	研究 社		

度迎えるべし、仏もさぞかし喜ぶでしょう。(N生)

勳章や肩書は過去の遺物だとばかり思つていたら、あに計らんや何んの会合にも肩書だけを忘れぬ人がいる。(H生)

小あきんどが首を長くして待つて信用協同組合で未だ出来ない。出来ない筈だよ金のいらぬ人が発起人だもの。(H生)

親光の巻は花より道路の修理(泥男)

年の瀬をむかへて、五、一〇の市日は益々活況を呈している。ところがこの市日にプレイキを必要とする意見が生れた。

しかもこれを作つた人達によつてだから、ややこしは御時世だ。(X)

昔は茶番といひました。また仁輪加とも申したそうでございます。(X)

小学校学芸会、先生方のものを見て(丁生)

編纂後記

からりころりと町を行交はす人々の足音でやつて来た旧正月も四日の節分、五日の立春もすぎ、例年なら白の山々を連想するだらう今日この頃雪をとかす暖い風が吹き、日中どこか風のあたらぬ陽だまりにもいると、とけた雪の下から朽葉の下から眼ざめて来た力すよい大地の息吹ともにかすかに春の足音がそれとなんか感ずる。

積雪地における産業の不振は自然に支配され、呻吟しつつもこれに耐え春を待たねばならぬ。

昔から春にかけ火事が多いといわれ、今も出火の火事か考へてみただけでも愕然とする住宅問題で悩み深いため、私達は一層火に注意して楽しい旧正月を送りたいものである。